

第 36 回八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日	時	令和元年10月15日（火）14：00～16：00
場	所	八王子市保健所別館 1 階会議室
議	事	議 事 ゆりのき台地区への新たなバス輸送サービスの導入について 報 告 事 項 (1) 案内サイン整備計画の一部修正等について (2) 打越町旭ヶ丘団地における乗合タクシーの実証運行状況について (3) 事業者からの報告 (4) 立地適正化計画について そ の 他
●議事 - ゆりのき台地区への新たなバス輸送サービスの導入について 【事業者説明】 - ゆりのき台地区への新たなバス輸送サービスの導入について、早田委員より説明を行った。 2月下旬頃の運行開始を予定している。 【主な意見、質疑】 (委員) - 乗降が無い場合、ルートを割愛して目的地までの速達性を上げることについて、運行開始時は難しいと説明があったが開始時は全てを周るということか。 今後、乗車する人の把握はどのように行うのか。 ⇒(委員) 現時点では予約システムが確立できておらず、乗車の把握ができないため全てのルートを周ることになるが、将来的には速達性向上のため予約制の導入を考えている。 ⇒(委員) 停留所を飛ばして運行する場合は、早めに国へ連絡してほしい。 ⇒(委員) 了解した。 (委員代理) - トヨタのハイエースを使用するとのことだが、車両の塗装はどのように考えているのか。 ⇒(委員) 検討中であるが、京王バスの路線バスのカラーに塗装する案が出ている。 (委員代理) - 利用が少なかった場合、いつまで続けるか等についてはどのように考えているのか。 ⇒(委員) 運行継続の基準は考えていない。運行を開始すると地域の方々から色々なご意見をいただくと思うので、それらの意見を踏まえながら路線維持に向けて模索していきたい。 (委員代理) - 地元へ説明したのか。 ⇒(委員) 今回の会議で承認を頂いた後、詳細が決まり次第地元へ説明に行く。 (委員代理) - 車両は車いす用リフトを搭載し高齢者や障害者でも乗れるようになっているが、電動式のような大		

型の車いすには対応しているのか。

⇒(委員)

- ・ 車いすの対応については路線バスも同様であるが、車いすのお客様と、それ以外のお客様の両方の安全を確保することが大前提である中で、車いすに色々な種類があることは認識しているが、スロープの荷重等により安全性を確保できない場合にはご理解を頂くこともあるが、できる限り対応させていただきたいと考えている。

(委員)

- ・ このような小型車両の運行が広まっていくことは非常にありがたい。
今後もこのような運行を検討してもらえるとということか。

⇒(委員)

まずは、既存の路線バスを維持していくことが大前提と考えている。

(委員)

- ・ ゆりのき台が新興住宅地であれば住民の年齢層は比較的若いと思うが、年齢層によって乗車傾向が異なると思うので事前に調べた方が良いのではないか。

⇒(委員)

96 年より前からある新興住宅街である。現地へ行くと高齢者の世帯ばかりというわけではなく比較的子育て世代も多いようであった。

(委員)

- ・ 利用者からすると、シルバーパスや障害者割引を使いたいという意見があると思うが、採算性の問題があるということを地元へしっかりと説明していく必要がある。

また、この会議に諮る前に地元へ説明した方がよかったのではないか。

⇒(委員)

シルバーパスは東京都の制度であり、その意義は良くわかっているが、採算性が厳しい中で、シルバーパスで乗車いただいていた方からも運賃を頂かないと、運行自体ができなくなってしまうような状況が出てきているため、今回はシルバーパスを使えない運行とした。

(委員)

- ・ 今後、予約制にしていくということだが、路線バスは予約無しで乗れるのに、この運行はなぜ予約をしなければ乗れないのか、という単純な疑問が出てくるのではないかと思う。

⇒(委員)

予約制については以前多摩市で実証実験を行った際に、「予約」に対する利用者のハードルが思ったより高いという感想だった。このような新しい交通を入れる時に、予約をいかにしてもらおうかが非常に大きな課題だと考えている。

全国各地でデマンド交通が行われているので、他市の事例などを研究しながら、お客様にとって抵抗なく乗車いただけるような方法を検討し、路線の維持に繋げていきたいと考えている。

(委員)

- ・ この場にいる皆様は理解できたと思うが、利用者が理解するのは難しいと思うので丁寧に説明をしたほうが良いと考える。

(委員)

- ・ 新しく導入する運行は運賃 300 円ということだが、路線バスも 1 時間に 1 本走るのであれば、30 分待ってでも安い方に乗るのではないか。

その場合、新しい運行の利用者がいなくなる恐れがあるのではないか。

⇒(委員)

そのような懸念もあると思うが、一方でこのまま路線バスを続けても路線自体を廃止せざる負えなくなってしまう可能性が高く、何か手を打たなければ前に進めない状況である。

(委員)

- ・ 寺田止まりの路線バスをゆりのき台まで延長すれば、遠回りになるが新たな投資を抑えることができるのではないかな。

⇒(委員)

バス事業で最もかかる経費は人件費であり、ルートを伸ばすとその分運行時間が延び、人件費がより大きくなり、採算性の悪化に繋がってしまう。

(委員)

- ・ ゆりのき台方面について乗り切れなかった場合、次のバスを待つということになるのか。

⇒(委員)

路線バスの乗車状況を見る限り、乗り切れない可能性は極めて低いと考えている。また対応を検討していく。

(委員)

- ・ シルバーバスが使えなくなると困る人が出てくると思うが、今後地元と協議するという事か。

⇒(委員)

一般の方に対しても丁寧に説明していきたい。少なくとも開始前に告知等はしていく。

(委員)

- ・ 乗降ポイントをいくつか設けると言う話だったが、停留所という解釈になる可能性がある。停留所となると法律の中で表示をしなければいけないという項目があり、路面表示では足りない可能性がある。その点はご了承いただきたい。

(会長)

- ・ 今回の様に運行形態を変えて、路線維持を図ると言うのは非常にいいことである。
- ・ 1便平均6人なので9人定員の車両で乗り切れると思うが、乗客が集中するケースが無いとは言えないので乗り切れない場合の想定はしておいた方がよい。
- ・ 今回の場合、今まで通りの路線バスと、新しいシステムとの併用になるので運賃差の面で路線バスを乗る方が多いか、きめ細かいルートで運行する新しい運行に乗る方が多いか、お客様の動きをきめ細かく検証し今後どのような運行で進めていくか検討してほしい。
- ・ 福岡市の東区で西鉄が行っている「のるーと」というデマンドがある。これは、路線バスが通っている地域に、キャラバンでよりきめ細かいルートを周る予約制の交通であり、以前視察に行った。スマホで予約すると「何分後に到着する」と表示されるのだが、それより早く来たタクシーやバスに乗ってしまいキャンセルする人の比率が高いという話があった。今回の運行についても予約制の導入も考えているということだが、既に行っている他市の状況など見てみた方がよい。

(委員)

- ・ 今回の運行はシステムが変わるので、住民の方々に対して自治体も含めてしっかりと説明をしていただきたい。

【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】

●報告事項

① 案内サイン整備計画の一部修正等について

【事務局説明】

- 案内サイン整備計画の一部修正等について、事務局より説明を行った。

【主な意見、質疑】

無し

② 打越町旭ヶ丘団地における乗合タクシーの実証運行状況について

【事務局説明】

- 打越町旭ヶ丘団地における乗合タクシーの実証運行状況について、事務局より説明を行った。

【主な意見、質疑】

(委員)

- 北野駅北口から乗る場合、どのタクシー車両に乗ってもいいのか。
⇒ (事務局)
- 京王自動車さんか八南交通さんの車両であれば乗車できる。

(委員)

- 8日間で120名の乗車があったということだが、これは続けていける人数なのか。
⇒ (事務局)

市の補助金は運行経費の1/2までで、2名以上乗車しないと運行しない方法であるため、今の運賃体系だと2名乗ると運行経費が運賃と補助金で賄われるため、その点で事業性が確保されていることになる。

(会長)

- まだ8日間しか実施していないので何とも言えない部分はあるが、上下線での偏りの大きさについてはどのように考えているか
⇒ (事務局)
2人以上乗り合わないと利用できないという中で、団地発については団地内の乗り場が団地中央の1か所のみであることがネックになっている。また、団地から駅へは下り坂だが、駅から団地へは上り坂になっていることや、帰りは買い物などの荷物を持っていることから駅からの利用の方が多いと考えている。

③ 事業者からの報告

【事務局説明】

- 京王電鉄バス、西東京バス、神奈川中央交通、タクシー合同営業運営委員会より、台風19号の影響に関する報告と、配布資料に基づく説明を行った。

➤ 京王電鉄バス

- 台風19号の影響に関する報告
八王子市内は、高尾駅北口から小仏への路線について、沿線や、小仏バス折返し場で土砂災害があり運休している。道路管理者と情報共有をさせていただきながら対応を検討している状況。
また、市外であるが、立川市と日野市を結ぶ日野橋が半壊状態で、現在通行規制がかかっており、運行を取りやめている。
- 資料4-1に基づいて、2019年度の取り組み及び消費税率引上げに伴う運賃改定について説明した。

➤ 西東京バス

・ 台風 19 号の影響に関する報告

台風当日の 12 日 13 時以降は、全ての事業所において計画運休を実施した。

高尾駅から陣馬高原下の便について、狐塚から少し西へ行ったところと、下案下先で土砂崩れがあり、この影響で現在大久保までの折り返し運転を行っている。この路線は、通学用としても利用されていることから関係各所と連携しなるべく早く復旧するよう調整している。

また、八王子市外では青梅、檜原、あきる野でも同様に運行できない路線があり、一日も早い復旧を目指しているところである。

・ 資料 4-2 に基づいて、2019 年度夏季お盆ダイヤの設定、及び消費税率引上げに伴う運賃改定について説明を行った。

➤ 神奈川中央交通

・ 台風 19 号の影響に関する報告

甲州街道の土砂崩れの影響により、相模湖～高尾山口間、相模湖～八王子駅間を運休している。道路管理者と調整しながら早期復旧を目指している。

・ 資料 4-3 に基づいて、消費税率引上げに伴う運賃への転嫁、及びダイヤ改正について説明を行った。

➤ 八王子市タクシー合同営業運営委員会

・ 台風 19 号の影響に関する報告

台風当日の 12 日は、夕方から夜にかけて通行できない道路が増え、電車やバスが運休していく中で、タクシー事業者としては可能な限り運行したいと考えていたが、暗くなると冠水した場所は見えなくなり非常に危険なため、ほとんどのタクシー会社が暗くなる前に車庫に戻るよう指示し、安全であることが確認された道路のみ運行していた。

本日の午前中までの情報では、タクシー会社各社で被害を受けた報告は受けていない。

・ 資料 4-4 に基づいて、運賃改定と交通安全啓発車に関する説明を行った。

【主な意見、質疑】

➤ 東京都 建設局 南多摩西部建設事務所

・ 台風 19 号の影響に関する報告

台風 19 号の影響で都道においても複数個所で甚大な被害が出ており、現在通行止めになっている 5 カ所の概要について報告する。

① 日野橋の橋げたが、歪んだような状況で、開放の見通しは立っておらず相当の期間を有する。

② 新滝山海道について、高尾街道との交差点からあきる野方面の西側へ行ったところが、長い距離で道上法面の崩落があり、中央分離帯まで土砂で埋まっている。

あきる野から八王子へ向かう車線は通行可能であるが、八王子からあきる野方面への車線は全面通行止めで、こちらも開放の見通しは立っていない。

③ 都道 186 号線の高月浄水場から加住の山上に向かった約 600m について、降雨量が 150mm を超えたため通行止めとしたが、かなりの土砂崩落があり復旧には数週間を要する。

④ 高尾山線は、限られた車両しか通行できない道であるが、国道 20 号から薬王院までを全面封鎖しており開放まではもうしばらく時間がかかる。

⑤ 陣馬街道は、降雨量が 150mm を超えたため、和田峠から 3.4 km 手前の上案下まで通行止めとしたが、その手前の中野橋の先で大きな陥没があり車両が通れない状況。中野橋から県境までを通行止めとしており開放の見通しは立っていない。

また、恩方中学校付近で大規模な土砂崩落があり、その先でも道路の一部が川の濁流にのまれ半分崩れかけているような状況である。ここは 1 本道で命の道でもあるため一般車両は昨日の

夕方に交通解放したが、十分な安全が確認されていないため問い合わせに対しては必要な方以外は通らないで下さいと案内している。

旧甲州街道については、大規模な冠水等があったが昨日のうちに交通開放したが、また新たな陥没が複数個所で発生しているという情報も入っており十分な安全が確保されていないため、この状況をご理解いただきバス会社の皆さまにはご判断頂きたい。

④ 立地適正化計画について

【土地利用計画課説明】

- ・ 立地適正化計画について、土地利用計画課より説明を行った。

【主な意見、質疑】

(委員)

- ・ 高尾駅の南北自由通路をＪＲ、京王電鉄、八王子市、東京都で協働して早く整備してほしい。
⇒ (土地利用計画課)
- ・ 高尾周辺は都市機能誘導区域にも位置付ける予定なので、今後改めて検討していく。

●その他

- ・ 委員より、公共交通機関に関する障害者差別相談について、資料に基づき説明をおこなった。

【主な意見、質疑】

(委員代理)

- ・ 本日の報告いただいた４件の相談内容は、障害者福祉の委員会で議題にあがっている。
事業者さんに話を聞いたところ、４件とも最終的には歩み寄った形や、対応を検討させていただくというようなお返事を頂いている。
また、運転手さんへの研修が足りなかったという話もあったため、再度研修等による教育をお願いしているところである。事業者の皆さまにはご協力を頂いていると感じている。
車いすも色々な改良をしたものや、大型なものなど多様化しており、今後に対応に当たっては色々なことがあると思うが、市としても引き続き対応していきたいのでご協力をお願いしたい。

(会長)

- ・ 交通に関する相談件数は減ってきているのか。
⇒ (委員代理)
事業者さんの努力もあり減ってきている状況である。

●今後のスケジュールについて

- ・ 次回の「地域公共交通活性化協議会本会議」については、日程や場所等はまだ決まっていないため、決まり次第別途通知する。

以上